

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 28年5月1日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100235
法人名	社会福祉法人 豊生会 総合福祉施設 みゆき苑
事業所名	グループホーム 隼人
所在地	鹿児島県霧島市隼人町松永3630番地3 (電話) 0995-64-2520
自己評価作成日	平成28年 3月 1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成28年3月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム隼人は、去年の8月で13年目を迎え新たな気持ちで、利用者様、家族、地域住民、職員ともども地域密着型として、温泉の湧き出る自然豊かな団地内の一角で暮らしております。温泉の方も、アトピー・神経痛・リュウマチ・胃腸障害に効果があり、かけ流し湯で、皆さま入浴されております。また、地域住民・家族会の交流の場を図り、バーベキュー大会や、年末には、老人会・婦人会に協力を頂いて餅つき、そば打ち、門松作りの行事を行い交流をおこなっております。自然豊かなところでもあり、天気の良い日には、隼人地区の探索で鹿児島神宮、コスモス畑、菜の花畑にドライブや、地域を散歩をしたりと、利用者様が住み慣れた地域で生活が出来るよう支援を行っています。利用者様・家族の希望もあるのですが、看取りや在宅復帰に力をいれており、医療関係との密な連携を取り入れ利用者様・家族が安心・安全に暮らせる環境作りに努めており、ライフサポーター「介護なんでも相談所」の事業所で職員2名で対応しており家族・地域住民の相談窓口としても安心して暮らせる事業所として取り組んでおります。美味しい食事については、季節に応じた食事を召し上がって頂き、活力のある生活をして頂けるよう心掛けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○桜島を望める静かな高台の住宅地に建設されたホームであり、協力医療機関との連携は緊密で、特に利用者の健康管理と安全確保に重点を置いて、日常の思いやりのあるケアの充実に管理者と職員が一体となって取り組んでおり利用者・家族の安心につながっている。

○地域との交流は非常に活発で、法人の夏祭りやホームが主催する焼肉大会・餅つき・そば打ち等には地域の老人会や婦人会、近隣の子どもたちにも参加して頂き親しく会話を交わしている。ボランティアや高校生の実習、社会人研修の受入れ、学校帰りの児童の立ち寄りなども多く、散歩や買い物に出かける際には人々と挨拶や会話を交わしている。また、「まちかど相談所」として誰でも気軽に来訪可能であり、自然災害等発生の際には地域の避難所としてもホームを提供することも発信している。

○管理者や職員は、ご家族や利用者の思いや意向、日常の変化などについて、きめ細かな対話や利用者観察から十分に把握し、可能なことはサービスに反映する強い意志や柔軟な取り組みが感じ取れる。そのために管理者が職員の意見や提案を、ミーティングや個別面談等で話しやすい雰囲気作りに努めて収集し、職員の良いチームワークで実現に結び付けている。

○法人及びホームでの研修が非常に積極的で、また計画的に実施されている。ケアの状況を職員が相互にチェックした結果やご家族のお話などを事例として多くの研修テーマを管理者自らが設定して話し合いを行い、熱心に職員の育成に取り組んでより良いケアの実現に繋げている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員一人一人が利用者様、ご近所、ご家族と心を繋げるような介護に努めている。	法人並びにホームの理念に行動指針を掲げ、これらを基に年間目標を設定して、利用者中心に、また、利用者やご家族と心が通い合うように日々のケアに取り組んでいる。日々の申し送り時の唱和、ミーティングや勉強会での話し合いを通じて理念の共有や意義の理解を深めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	四季折々の地域行事などに利用者様を一人でも多く参加して頂けるようにしている。	地域のお祭りへの参加のほか、ボランティアや高校生の実習、社会人研修の受入れなど積極的に交流している。散歩や買い物などに出かける際には人々と挨拶を交わし、法人の夏祭りやホームの焼肉大会・餅つき・そば打ち等には地域の老人会や婦人会、近隣の子どもたちにも参加して頂き親睦を深めている。また、「まちかど相談所」として誰でも気軽に来訪できるようにしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	まちかど相談所として、誰でも気軽に来苑できるようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	奇数月に会議を行い、会議で出た意見の報告を受けそれを職員共有し、話し合うようにしている。	会議は利用者や家族、地域住民、市役所や地域包括センターの職員等関係者が参加して定期的開催されている。ホームの現況報告や行事・問題点・外部評価の結果報告等について活発な意見交換が行われ、それによる提案や意見を職員が共有して具体的にサービスの質向上に活かされている。今後は民生委員や警察・消防署の職員の参加もお願いして、会議の一層の充実と活性化も計画している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>入所者様に変化があった時、福祉課など連絡し対応している。</p>	<p>市や包括支援センターの担当者には毎回の運営推進会議に出席して頂くと共に、入退所や認定更新の手続き時にも報告や相談事項に対して適切に助言・対応して頂くなどの連携を図り、サービスの質向上に取り組んでいる。また、市主催の研修を基に教職員の研修受け入れや認知症サポーター養成講座の実施のほか、地域連合会等での取り組みなど日頃から行政との関わりは深い。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月、勉強会やミーティングを通して学び常に自由で安心して過ごして頂ける環境を全員で話し合い取り組んでいる。</p>	<p>言葉による拘束の排除を含む身体拘束については、委員会で議論するとともに、法人及びホームの研修も実施され、十分な理解への取り組みとケアへの反映がなされている。チェックリストも活用し職員相互にケアの実状を確認する工夫も行い、安全を確保しながら利用者の自由な暮らしを支援している。また、日中はホームの玄関等の施錠も行われていない。近所の方々とは日頃の散歩中の挨拶や会話により、見守りや声かけをしてもらえる関係が築かれている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日頃の生活の中で、お互いに言葉使いや介護に対しての自覚を持ち、思いやりのある介護に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>アンケートや、行政からの指導内容を取り入れ、反省等の学習する。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>担当者（管理者・ユニットリーダー）が説明し利用者・家族の意向も聞き、納得していただき契約して頂く。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日常生活の中での利用者様の言葉や声に傾聴し責任者又、ご家族の方への報告を行い不安のない生活を行い不安のない生活をして頂けるよう努めている。</p>	<p>利用者には、日常頻繁に声掛けて思いや意見を聞きだす努力をしている。ご家族とは来所時や運営推進会議・家族会の際に、話しやすい雰囲気作りに努めて多くの意見を頂いている。申し送りやミーティング、申し送りノート等の活用で情報を共有して解決策を話し合いケアに具体的に反映している。ホーム便りで利用者の様子やホームの取り組み等を広く家族に情報発信している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>人事考課も必要ではありますが、就業の実態をグループホームに出向いて話し合いも必要でその都度、対応し管理者の方で改善している。</p>	<p>管理者は、日々の申し送りや毎月のミーティングで職員の意見や提案を聞き取ると共に、頻繁に声掛けを行い、必要に応じて個別面談の場も設けて話しやすい雰囲気作りに努めている。また、ご家族のお話や職員相互にケアチェックした事例を基に職員と話し合い、得られた意見や提案・気づきを、具体的に業務改善やサービス向上につなげるように取り組んでいる。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>アンケートや、個々の面談により、管理者が指導している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月のグループホームでの勉強会や研修への参加が必ずあり、特に事例を上げての勉強会は、考えさせられる意味のあるものです。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>霧島市地域密着型連合会の外部研修に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族からの、情報を得る。又、御本人との会話で状況を得て、対応している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の不安をお尋ねし、かぞく、職員で一つずつ段階を踏む。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の話聞き、御本人に対しての対応を職員同士で話し合う。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	レクリエーションや入浴など、お互いに声掛け合い自立を見守りながらできること、出来ないことを分かち合って生活しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族へ現状を報告し家族とともに話し合い介護を行う。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族にお尋ねし、情報を聞き時には、ドライブなどで、地域に出向かう。	利用者の知人などの来所時にはゆったりと過ごせるように支援することをはじめ、電話や手紙の取り次ぎも行っている。本人が希望する散歩やドライブ・商店・一時帰宅や墓参り・地域の催し物等を把握して、必要に応じて家族とも調整の上で可能な限り同行するように努めている。また、馴染みの美容師に来所してもらっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員同士、分担しそれぞれ入所者に対応している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	元入所者様家族と出会った時、声掛けています。また、在宅復帰された利用者様についても、担当ケアマネ、家族と連絡や情報交換をおこなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常状況においては、買い物と一緒にいっている。	日々の生活の中で思いや希望の把握に努めると共に、本人の暮しに何が最良であるかを家族の訪問時に聞き取っている。申し送りノートやミーティングで職員は情報を共有し、十分に意見交換して必要な対応を検討し、利用者本位の支援に結びつくように取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様との会話やご家族と話した内容の中でご本人の趣味や職業を通じて生活を共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その日の健康状態や気分などを把握して、洗濯物や片付けや野菜切りなどを、手伝って頂く。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ミーティング・申し送りで意見を出し合って、把握している。	本人・家族から希望や意向を聞き、主治医や関係者・職員からの意見を反映した詳細な介護計画を作成している。ケアチェック表や支援経過記録で情報共有し、申し送りやユニットミーティングで日々の利用者の状況を確認し、必要な変更内容を評価して適切に見直しを行い修正している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>記録を通して、日々の活動状況を把握している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族の状況により、送迎できることをお伝えしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>散髪は地域の美容室から、来ていただく。(偶数月)</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>御本人・家族の病院の選択を職員は把握しており、些細なことでも医師に相談し、いつでも、安心して頂けるよう支援を行っている。</p>	<p>利用前の受診経過は十分に把握されており、家族や医師との連携は密になされ、協力医療機関や歯科医による定期的な訪問診療を適切に支援している。受診状況や服薬などの必要な対応も職員をはじめとする関係者で情報の共有が図られ、ご家族への連絡も適切に行っている。協力医療機関とは24時間連携が図られ、緊急時にも適切な医療が受けられる状況である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>常に、看護師に入居者様の体調変化を伝え、指示に従う。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時、洗濯物を取りに行く。面会・届けにいった際には、入居者様とかいわする。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所説明の際は、重度化や終末期に向けた指針を家族に説明、アンケートを取り、その旨、主治医へ伝え家族と話し合う。又、家族の気持ちに変化にも、対応できるよう、看取りについても、最度聞き取りを行う。</p>	<p>重度化や看取りに対する対応指針を定め、家族に説明し同意をもらっている。また、日々の生活の中で入院や医療の必要性が生じた時などに、ホームが実施できることなどの必要な説明を繰り返し行っている。本人やご家族の希望に応じてかかりつけ医とも話し合いを行い、都度希望を尊重して適切に対応できるように取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の対応を常にはなしあっている。心肺蘇生法・AEDについても研修を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>日勤、夜間帯を想定した、火災訓練・避難訓練や緊急に備えての連絡網の活用も行っている。また、自然災害についても、マニュアル作成し話し合っている。</p>	<p>年2回のうち1回は消防署と連携して避難・通報・消火訓練及び勉強会を実施している。地域住民の参加も得て自然災害も想定した自主訓練も行っている。防災計画も整備して近隣の住民やご家族との連携も図られ、災害時に備え自動通報装置及びスプリンクラー、避難用すべり台などの設備の充実にも取り組んでいる。食料や飲料水の備蓄も問題はなく、災害時には地域の住民への施設提供も可能な状況である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>職員との会話の中で利用者様に決定をお願いしている。言葉使いは、職員同士で注意して人格の尊重に努めている。</p>	<p>接遇研修等の充実を図り、利用者の尊厳やプライドを損ねるような言葉かけや対応の防止に努めている。排泄・入浴・食事等のケアに際しても利用者の誇りやプライバシー確保への声かけや対応を、全職員が繰り返し観察しながら確認している。また、居室の保護や個人記録の取扱いにも十分配慮している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日常の会話の中で、御本人の希望や行動を職員みんなで共有できるように心がけている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>季節感を楽しんで頂けるような過ごし方を重視し御本人の希望に添えるように努めている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>ご家族との、外出や入浴後の身だしなみの支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べる事に、楽しみを持って頂けるよう食事やおやつなどの希望を取り入れている。嫌いな方には別メニューの対応も行っている。	旬の食材を活用し、利用者に配膳・下膳・後片づけなど、できることは手伝ってもらい、会話しながら和やかに食事できるように工夫している。そば作りや餅つき・焼肉大会の際には、地域の人々と交流を図ったり、天気の良い日は庭でお茶会、季節の行事食や誕生会のケーキ・外食、敬老会時の家族との食事会など、利用者の楽しみにつながる工夫も行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の会った、食事形態・飲み物はゼリーなどを利用している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアを行う。うがいが出来ない方は、口腔ケアウティッティをしようしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	長時間トイレに行かれない方に、声掛けしている。入浴のない時には、清拭、洗浄している。	ご家族より利用者の自宅での排泄状況や家族の要望を聞き取り、排泄チェック表を適切に活用し、誘導や声掛けを通じて可能な限りトイレで排泄できるように支援している。適切な援助方法や用品の選択などを職員が話し合い、一連の工夫は利用者個々の介護プランに盛り込まれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	冷たい牛乳、芋、水分を多目に、飲んで頂く。困難時には医師に相談する。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の声掛けした時、拒否されたときには、時間をずらしたり、翌日に入浴していただく。	毎日でも入浴は可能であるが、基本的には週3回、利用者の健康状態に配慮しながら天然温泉をゆったりと安心して楽しめるように支援している。入浴を拒否される場合には、職員の交替や繰り返し声かけも工夫して気分転換を図るようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調に応じて、自室で休んで頂き、日中（お茶時）時間を見てリビングへ出て頂く。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者との確認を行い最後迄、見守る。副作用の症状が出た場合、主治医へ相談する。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	雑談・レクレーション・散歩等を行っている。誕生日・行事等にはプレゼントを行っている。 (母の日・父の日・クリスマス)		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	職員を確保し、天気の良い日ひは、ドライブ、初詣、畑に出向いている。	家族からの情報収集とともに、個々の利用者の好みや習慣は日常会話からもくみ取り、買い物・散歩・ドライブ・墓参り・一時帰宅・畑の手入れ等に出かけている。庭でのお茶会や地域の老人会・婦人会との交流の機会も楽しんで頂いている。また、年に数回は法人の夏祭りや地域の行事、季節の花見、初詣等にも車椅子も活用しながら支援している。ご家族の援助のもとでの食事や外泊、墓参りなども勧めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	夏祭りの際の出店で好きなものを買ったり、自動販売機で好きな飲み物を買ってもらう。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	御本人の希望によっては、携帯より連絡していただく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	花（季節の物）等を生ける。又、季節の花の塗り絵を貼る。気候に応じて換気を行う。	ホームの遠景には桜島も眺めることができ、庭ではお茶やリクリエーション、地域の方々と交流が楽しめる環境である。利用者が多くの時間を過ごすリビングは、季節を感じながら居心地よく良く過ごせるように花飾りや行事の写真等の掲示がなされている。また、利用者にとって不快に感じる音や臭いなどは感じられず、清潔さや明るさ、温度・湿度の調整など自由に気持ちよく過ごせるように配慮されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	会話を رفتたり畳の所でひなたぼっこしていただいたり、レクリエーションに参加する。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内に家族写真等貼る。塗り絵された物や行事写真・季節のカレンダーを貼る。安心して過ごせるように。	居室はフローリング仕様であり、ベッド・タンス・エアコンが設置されている。利用者に馴染みの寝具・時計・家具・写真や絵などを自由に持ち込んでもらい、プライバシーを大切にしながら、自分の部屋として本人が落ち着いて過ごせるように配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	車イスの方や、歩行できる方に安全に生活できるようにつとめている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念に沿った、利用者様中心のケアを行い日々の生活を大切にしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所の方々に会ったら、必ず挨拶、話等している。餅つき、そば打ち等の季節の行事でも交流を図っている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	電話での問い合わせや相談等にはできる限りのお答えしております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議で出された意見は、本部に報告、話し合いその結果をまた会議で報告している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>入所者様に変化があった時、福祉課など連絡し対応している。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月、勉強会やミーティングを通して学び常に自由で安心して過ごして頂ける環境を全員で話し合い取り組んでいる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日頃の生活の中で、お互いに言葉使いや介護に対するの自覚を持ち、思いやりのある介護に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>職員全員で研修や勉強会等に積極的に参加し、理解を深めるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>担当者（管理者・ユニットリーダー）が説明し利用者・家族の意向も聞き、納得していただき契約して頂く。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日常生活の中での利用者様の言葉や声に傾聴し責任者又、ご家族の方への報告を行い不安のない生活を行い不安のない生活をして頂けるよう努めている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>人事考課も必要ではありますが、就業の実態をグループホームに出向いて話し合いも必要でその都度、対応し管理者の方で改善している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>アンケートや、個々の面談により、管理者が指導している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月のグループホームでの勉強会や研修への参加が必ずあり、特に事例を上げての勉強会は、考えさせられる意味のあるものです。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>霧島市地域密着型連合会の外部研修に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族からの情報を得る。又、御本人との会話で状況を得て、対応している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の不安をお尋ねし、家族、職員で一つずつ段階を踏むように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族の話聞き、ご本人に対しての対応を職員同士で話し合う。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	レクリエーションや入浴など、お互いに声掛け合い自立を見守りながらできること、出来ないことを分かち合って生活しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族へ現状を報告し家族とともに話し合い介護を行う。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族にお尋ねし情報を聞き、時にはドライブなどで地域に出向かう。</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>職員同士、分担しそれぞれ入所者に対応している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>元入所者様家族と出会った時、声掛けている。また、在宅復帰された利用者様についても、担当ケアマネ、家族と連絡や情報交換をおこなっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常状況においては、買い物に一緒に行っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様との会話やご家族と話した内容の中でご本人の趣味や職業を通じて生活を共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その日の健康状態や気分などを把握して、洗濯物や片付けや野菜切りなどを、手伝って頂く。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ミーティング・申し送りで意見を出し合って、把握している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケース記録やヒヤリハット等を通して、日々の活動状況を職員全体で把握している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族の状況により、必要なら送迎できることをお伝えしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>散髪は地域の美容室から、来ていただく。(偶数月)</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>御本人・家族の病院の選択を職員は把握しており、些細なことでも医師に相談し、いつでも、安心して頂けるよう支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常に、看護師に入居者様の体調変化を伝え、指示に従う。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はほぼ毎日職員が面会に赴き、会話等している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所説明の際は、重度化や終末期に向けた指針を家族に説明、アンケートを取り、その旨、主治医へ伝え家族と話し合う。又、家族の気持ちに変化にも、対応できるよう、看取りについても、最度聞き取りを行う。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応を常に話合っている。心肺蘇生法・AEDについても研修を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に近くの分遣所の立ち合いの元、訓練を実施している。又、緊急避難用の滑り台を使用した訓練も実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>職員との会話の中で利用者様に自己決定をお願いしている。言葉使いは、職員同士で注意して人格の尊重に努めている。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日常の会話の中で、御本人の希望や行動を職員みんなで共有できるように心がけている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>季節感を楽しんで頂けるような過ごし方を重視し御本人の希望に添えるように努めている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>ご家族との、外出や入浴後の身だしなみの支援を行っている。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食べる事に、楽しみを持って頂けるよう食事やおやつなどの希望を取り入れている。嫌いな方には別メニューの対応も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>個人の会った、食事形態・飲み物はゼリーなどを利用している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後の口腔ケアを行う。うがいが出来ない方は、口腔ケアウティティナーをしようしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>長時間トイレに行かれない方に、声掛けしている。入浴のない時には、清拭、洗浄している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>冷たい牛乳、芋、水分を多目に、飲んで頂く。困難時には医師に相談する。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者様は、月～土曜日の週3回の入浴です。希望により毎日でも入って頂きます。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その時の状況で、居室で休んで頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が入所者様の内服について理解しており、その都度、症状に応じて対応しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日、柔体操や、歌を歌ったり笑顔で楽しく生活出来るように努めております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	晴天の日は、外に散歩に出かけたり、時には買い物と一緒に、行ったり地域交流に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>預り金の中から、買い物の際は買って頂いております。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話を掛けたり手紙のやり取りも自由にして</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>花（季節の物）等を生ける。又、季節の花の塗り絵を貼る。気候に応じて換気を行う。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>時には、畳の部屋でお茶を飲まれたりおしゃべりされたりしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅より、使い慣れた物を持っていただき、居心地よく生活できるようにしております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来ることは、見守りをしながらやっております。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
		○	3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、申し送り後、入居者様の前で理念を読み、朝の挨拶をしている。理念に沿った介護を心掛けている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所の設置場所・地域性などの環境面から、日常的交流は難しい。地域家族交流会（餅つき・そば打ち・焼肉大会）など毎年行っている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	まちかど相談所として、誰でも気軽に来苑できるようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	奇数月に会議を行い、会議で出た意見の報告を受けそれを職員共有し、話し合うようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	入所者様に変化があった時、福祉課など連絡し対応している。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月、勉強会やミーティングを通して学び常に自由で安心して過ごして頂ける環境を全員で話し合い取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている	日頃の生活の中で、お互いに言葉使いや介護に対するの自覚を持ち、思いやりのある介護に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	アンケートや、行政からの指導内容を取り入れ、反省等の学習する。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	利用者様やご家族の意向を十分しり、説明を行い理解・納得を図っている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	面会や担当者会議などの際、意見、要望などの把握に努めている。また、できることは、すぐ実践するように心がけている。		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	人事考課も必要ではありますが、就業の実態をグループホームに出向いて話し合いも必要でその都度、対応し管理者の方で改善している。		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	アンケートや、個々の面談により、管理者が指導している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月のグループホームでの勉強会や研修への参加が必ずあり、特に事例を上げての勉強会は、考えさせられる意味のあるものです。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>霧島市地域密着型連合会の外部研修に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	情報収集を密にし、御本人や家族の要望、不安等を把握し、安心して生活できるように努めている。受け持ちを決めより深く心に寄り添うことで、新しい生活に慣れて頂くようつとめている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の心配事、要望などに身心をもって傾聴し、共に考えていく姿勢で望み、信頼関係を作る努力している。入所当初は生活の様子を電話等で知らせるよう心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所時、情報を元に今、必要とされる支援を見極め、家族の協力も得ながら対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ホームでの生活が、その人らしく有意義に過ごせるように、自分の家族だったらどうだろうの気持ちをもって接するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	生活の様子を手紙や電話、写真等で知らせ、喜びや安心感を持って頂けるよう努めている。御家族・利用者様の絆を大切にした支援を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	身内の知人などの面会時は、写真を撮り、部屋に貼ったり、写真集に収めいつでも見て頂けるようにしている。時に、生地訪問をし、記憶をたどっていただくようにしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーション時、みんなで応援したり、拍手したりなどで、気持ちを通い合わせている。洗濯たたみを職員と利用者様としながら声を掛け合ったり、教えあったり触れ合いが持てる場面を選定している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設へ行かれたり、入院中に退所されたりの場合でも訪問したり、電話、手紙等で現況をしり、相談に乗ったりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の会話の中からその方の思いや希望、意向の把握に努めている。困難の場合は、ご家族の意見も反映しながら、本人本位に支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしの把握はご家族から、得ることも中々難しい場合が多い。家族・知人などの面会時や行事参加時などに得るように心がけている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の観察や健康チェック・ケース記録・申し送りなどを通し現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々のミニカンファレンス、毎月のユニットミーティング時は、担当者会議等の意見を出し合い介護計画している。特に受け持ち職員は、意識を高く持ち、意見を出すようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケアプランに沿った記録を実施していることで、情報の共有や継続性のあるケアが出来る。意識化も強まり、問題発起やアイデアを出したりが見られてる。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>			
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の散歩時、地域の方々との会話や野菜などを頂いたりと交流が持て喜ばれている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人及び家族の希望のかかりつけ医で医療を受けられている。かかりつけ医との、連携をとり適切な医療を受けられるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職員は、健康チェックや観察情報などから、早めに異常を察知するよう心掛けており、看護職員や医師への相談や適切な受診ができるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は、毎日職員が交代で訪問し声掛けを行い、洗濯物を持ち帰ったり届けたり、御本人・ご家族にも安心していただいている。病院関係者との情報交換や相談なども行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>急変時の対応について、ご家族の意向を知り、主治医にも伝えている。終末期のあり方についても、ご本人にとって最良の方法を家族と話し合い考えるようにしている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>夜間発生時は、応援者をすぐ手配し他入居者様の事故防止にも配慮している。AEDの使用方法についても、研修会で習得している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日勤、夜間帯を想定した、火災訓練・避難訓練や緊急に備えての連絡網の活用も行っている。また、自然災害についても、マニュアル作成し話し合っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	安心・安全な生活。穏やかな気持ちで過ごして頂けるよう食事・排泄・入浴・更衣時の介助中でもその人らしさを失うことのないよう丁寧な言葉使いや声掛けに気をつける。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の希望を見極めて安心・安全に行動できるよう環境を整えたり、レクリエーション等では、塗り絵や歌など選択して楽しんで頂いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自由にホール内を移動されひなたぼっこされたり朝の起床時には「まだ、寝たい」など利用者様の気持ちを優先し見守りながら支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	起床時や入浴後の更衣時には、希望されるものを取り入れたり、また、身キレイであられるように上下のバランスにも気を付けている。トイレ誘導後もチェックしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食前にはテーブルを拭いたりできることをして頂いている。また、盛り付けにも、気を付け職員も一緒に食事しながら見守りと同時に会話したり楽しい時間になるように気をつけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	嚥下機能や嗜好等を考慮し水分摂取1500CC/1日を目安に。お茶・ジュース等を準備、トロミを付けたりしている。食事形態も、ミキサー食や刻み食にしたり飲み込み等に支障のないようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアはできる方は、見守りながらご自分でして頂いている。介助の必要な方もできることはして頂くよう声掛け見守りを行っている。うがいは、お茶を使用している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意・便意のない方は、排泄チェック表で時間をみて声掛け・トイレ誘導行い、トイレで排泄していただくよう気を付けている。日中、布パンツとパット使用し、清潔を心がけ誘導している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	起床時には、冷たい牛乳を飲んで頂いている。おやつには、ヨーグルトや果物、焼き芋など繊維質の物を用意、摂取して頂いているレクリエーションの時には、体操をしたり、便秘が続く際は、主治医に相談し下剤を服用することもある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一日置きの入浴で時間帯も午前中がほとんどである。大体の利用者が喜んで入浴されているが拒否される時もあるので、時間をずらしたり翌日にしたり考慮している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寒い日・暑い日があるので空調を利用し気持ちよく休んで頂くよう気を付けている。消灯の時間に臥床されない人もいて、強制はしていない。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬を準備する時、日付・朝・昼・夕等職員で確認している。服薬時には、利用者様と名前・朝・昼・夕を声を出して確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物をたたんだり食器洗いをしてもらったり、その方のできることを職員の見守りの中でいて頂いている。レクレーションも午前・午後行い歌を歌ったり笑いのある活動ができています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気やその日の介護職員の人数によるがドライブ・散歩に行ったりしている。季節ごとの行事、運動会・夏祭り・幸寿会・地域交流会・花見・地域老人会婦人会参加の餅つき等あり、楽しんでおられる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族からの預り金はあるがほとんどの方は買い物等に無関心であるが、夏祭り、ドライブの出先での買い物を体験されることもある。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>子供から電話に出られ、楽しく会話されている。送ってきた絵手紙を何度も繰り返し読んでおられる。希望時には、電話の取次ぎも行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホールの壁には、季節ごと月ごとの塗り絵や入居者様の写真等貼ってある。ホール・居室・台所・トイレは1日3回拭き掃除を行い清潔に保っている。清掃時には、換気をしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ガラス越しに、ひなたぼっこをされている。同じテーブルに座り塗り絵をしたり歌を歌ったりされ笑顔が見られる。取り込んだ洗濯ものをみるとすぐにたたみに来てくださることもある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使っていたタンス・鏡台等を置いて過ごされている。室内には、家族の写真を貼り安心感と忘れることのないよう工夫している。担当の職員が利用者様にあった居心地のよい部屋作りを目指している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	歩かれる方や車イスの方が安心・安全に移動できるような環境になるよう気をつけている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない